

# まいづる元気人 Vol.65

## 舞鶴が楽しくなる拠点をつくる

西舞鶴の町家や空き店舗を活用し「ギャラリーがあればいいな」とイベントスペース「幸嘉庵」(現在はゲストハウス)を、「カフェがあったらいいな」と日替わり店長のチャレンジカフェ「FLAT+」をオープンするなど「好きな地元の町並み」を守りつつ、人の集まる拠点づくりに取り組む大滝さんに活動にかける思いや今後の展望を伺いました。



コキン 代表  
大滝 雄介 さん

### 舞鶴を出たはずが

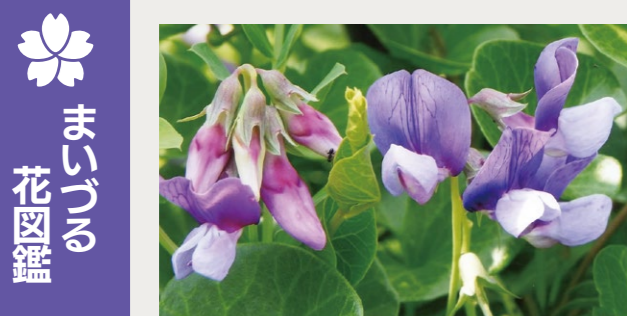
「何もない田舎が嫌で、舞鶴を出たかった」。舞鶴での暮らしはそんな鬱屈とした日々だったと振り返る。進学先の候補は京都と千葉。迷わず千葉県の大学を選んだ。東京にほど近い大学では「こんなにも面白い人頭のいい人、おしゃべりな人がいるのか」と自分の視野が一気に広がったという。ずっと行きたかった大手企業に就職。憧れの職場での仕事も都会での暮らしも楽しく、地元へ帰る選択はしなかった。転機は、実家からの電話だった。父親が病に倒れ、帰ってきてほしいとのこと。それでも初めは帰る気にはならなかったという。実家は工務店。帰ると何を意味していた。都会での人生はイメージがついた。どこまで出世し、どのくらいの収入で、いくらくらいマンションを買ったらいい。対して、実家を継いだらどうなるのかは想像がつかなかった。人生は一度きり。想像のつく未来を選んで後悔は残らないか。半年、一年と悩み抜いてチャレンジする道を選んだ。

### 暮らしをつくる仕事

帰ってきた嫌だった田舎に湧きあがった感想は「いいな好きだな」だった。都会での7年間がまちの見え方を変えてくれた。興味がなかった工務店の仕事も働いてみると「楽しいな」と感じた。東京では、システムエンジニアをしていた。組んだプログラムは日本中で稼働していた。舞鶴では、家も建てれば寺も直した。画面の中でのものづくりに対し、大勢の職人と共に暮らしをつくる「守るものづくり」には大きな実感があつた。

### 好きな町並みを守るため

「いいな」と思えるようになつた地元の町並みが少しずつ失われていく。仕事で町家を解体することもあった。この町並みを守れないものか。また、舞鶴には「家庭」「職場」以外の「第二の居場所」が足りないとも感じていた。そして自分も建築の仕事をしている。仲間と共にKOKINを結成し幸嘉庵やFLAT+を立ち上げた。西舞鶴の町並みも守り、地域に「第二の居場所」も生まれた。一度は「何もない田舎」と都会へ出た大滝さんに、舞鶴を離れて戻ってこない若者が多いことについて思いを聞いた。「何もない所だと、不満を言っているだけの時間はもったいないし、ないなら自分でつくり出すべきだ」と思う。若者ならむしろ一度は都会に出るべきだ。自分は都会へ出て視野も広がったし、たくさんの方を学べた。そのうえで地元を振り返ってみてほしい。都会に出たからこそ舞鶴の魅力が見えたと、学んだことや見聞きした経験があるから今こうして活動できている」と、プログラム、建築、そして活動の場「ないならつくろ」の精神は都会でも舞鶴でも一貫している。また「どういった思いを持った若者が活動できるクリエイティブな職場であることが、若者が戻ってくるための地元企業の役割だ」と、経営者としての視点にもやはり「人が楽しめる場所」を欠かさない。今後は、新たなゲストハウスや舞鶴での暮らし体験を考えている。まだまだ「舞鶴が楽しくなる拠点」は増えそうだ。



日本各地の海岸の砂浜でよく見られる、エンドウに似た多年草(エンドウは越年草)。茎は地を這い長さ50センチくらいで、先は斜めに立ち上がる。葉は羽状複葉で幅2センチ長さ3センチくらいの小葉を5〜6対付け、先端は巻きひげになっている。初夏から夏に、葉腋から6〜9センチの長い花柄を出し、赤紫色の蝶形花を数個付ける。豆果は長さ5センチほどで熟すると黒褐色になる。

名前の由来は浜辺に生え、エンドウに似ていることから。  
【協力】 瓜生勝朗/市文化財保護委員(植物分野)

ハマエンドウ (マメ科)

まいづる 花図鑑 vol.152

## Our community 夢中になる時間 自治会・ボランティア団体・学校・サークル 団体などの活動を紹介

### まいづる笑顔合唱団 ~Sonnet~

まいづる笑顔合唱団~Sonnet~は、合唱が大好きな小学生が集まり、合唱の上達だけではなく、学校を超えた仲間づくりを行っています。今年4月に前身のまいづる児童合唱団の運営を引き継ぎ、保護者も合唱の輪が広がるよう、いろいろなことにトライしながら活動中です。基本的には毎週土曜日の10時~11時30分に日星高校の音楽室を借りて練習しています。見学や体験など大歓迎です。ぜひ一緒に歌声を響かせましょう。また、合唱を披露できる機会も探しています。合唱見学や出演依頼など、詳しくは以下の問い合わせ先へ。お待ちしております。

【問い合わせ先】  
保護者会代表の前野さん(☎090・1448・1731)



### 竜宮老人クラブ「白寿会」

白寿会は、設立して約30年になります。住み慣れた地域で健康長寿を目指すために「寝たきりにならない」「転倒しない」「認知症にならない」などの予防をモットーに、いつまでも現役を維持できるように会員同士、互いに支え合いながら元気に活動している老人会です。活動は、市から運動指導員を派遣してもらい簡単な体操を行う「サロンdeすれっち」や、グラウンドゴルフ、カラオケ、ボランティア活動、親睦旅行、町内会行事、出前講座など、気軽に自由に活動しています。特に「サロンdeすれっち」は平成25年から開始し、運動指導員のもと和気あいあいと楽しく笑いの絶えないサロンです。

◆各会員に聞いた「サロンdeすれっち」で良かったこと  
◆転倒が減った ◆交流が深まりいろんな話が自由にできる ◆体力が付き運動量が増えた ◆メンバー同士の健康状態の情報交換ができる ◆脳トレが認知症予防につながっている ◆体力の意識が高まった など  
【問い合わせ先】 白寿会の内谷さん(☎63・8126)  
※「サロンdeすれっち」に関する問い合わせは、高齢者支援課(☎66・1012)へ。



掲載団体を随時募集中  
自治会・ボランティア団体・学校・サークル団体などの活動を紹介(応募多数の場合選考)。右コードからアクセス可。  
▶詳しくは、広報広聴課(☎66・1041)へ。

